

29th TOIS SEMINAR

細胞農業の最新動向と培養技術の進展に向けた課題

開催日時：2024年12月16日（月） 15:00～18:30（ネットワーキング含）

開催場所：キムチドリアンカルダモン K,D,C,, <https://kdc-foodlab.com/>

東京都新宿区百人町1丁目10-15 JR新大久保駅ビル4F

（JR新大久保駅直結 ※出口は1つです）

参加費：無料

申込み：こちらのリンクまたは右のQRコードから申込みをお願いします。

<https://forms.office.com/r/4gUfjzc85A>



会場GoogleMap



申込みフォーム

2024.12.16.

開催

細胞培養技術が、食や医療に貢献するためには？

◆背景

食肉の代替となる培養肉は、動物の細胞を体外で組織培養することによって得られる肉のことです。サステナブルな食材として世界中で注目されている一方で、培養のコストや安全性の面の課題など様々な課題を抱えております。本セミナーでは、細胞農業の課題解決に向けた議論を行うだけでなく、再生医療での培養技術の適応可能性や各種規制の課題などについて踏み込んだ議論を行い、且つ培養肉についての消費者意識についても、食をビジネスとする企業やシェフの立場からの提言などもいただきます。

本セミナーが培養肉の普及に対して解決の糸口をつかむ良い機会となると幸いです。

◆セミナーにおける討議内容

- ・細胞農業についての現状の取り組み、普及への課題、消費者意識について
- ・再生医療等の医療における細胞培養技術の細胞農業への適応性
- ・各種培養技術について、培養装置や消耗品等に求められる技術



細胞農業の最新動向と培養技術の進展に向けた課題

開催: 2024年12月16日(金)15:00~18:30

タイムテーブル(予定):

14:30	開場・受付開始	
15:00-15:05	ご挨拶	事務局 名古屋大オープンイノベーション (OI) 推進室 室長 寺野 真明
15:05-15:10	K,D,C,, について	株式会社 CO&CO事業統括部長 伊崎 陽介氏
15:10-17:00	第一部 講演	
15:10-15:30	「細胞農業についての最新研究動向」	東京大学大学院 竹内昌治先生
15:30-15:50	「細胞性食品（培養肉）のルール形成における課題」	細胞農業研究機構 吉富 愛望氏
15:50-16:10	「細胞大量培養の効率化および品質評価AI技術」	名古屋大学 加藤 竜司先生
16:10-16:30	「食品メーカーから見た細胞農業の取り組み、課題」	食品企業（調整中）
16:30-16:45	「課題：シェフから見た培養肉の可能性」	シェフ 杉浦仁志氏（調整中）
16:45-17:00	「細胞培養・加工・分析等に利用できる機器・設備のご紹介」	名古屋大学・次世代バイオマテリアル拠点事務室 特任教授 藤田 聡先生
17:00-17:05	休憩（レイアウト変更）	
17:05-18:05	第二部 アトリエ（ラウンドテーブルでの議論）	
	テーマ① 細胞農業についての普及課題	
	テーマ② 細胞培養技術の応用の議論	
	テーマ③ 消費者意識の改善に向けた議論	
18:05-18:30	ネットワーキング	

TOIS (TOKAI OPEN-INNOVATION SALON) とは？

東海国立大学機構は、サロン活動TOIS (TOKAI OPEN-INNOVATION SALON) を設け、社会、企業とアカデミアそして社会での実践者の入り混じりによるオープンイノベーションの創出に挑戦し、その発火点として各種テーマによるセミナーを開催しています。入り混じりからの共創を目指し、セミナーでは前半、有識者らからの最先端の情報の交換の後に、同インプットをトリガーとする新規テーマ創出議論（アトリエ活動、後半）を同業他社、異業種を含めたオープンな議論のもとに進めます。新規事業、スタートアップなどイノベーションを求める仲間のご参加を期待します。サロン入会は無料です。詳しくは下記連絡先までお問い合わせ下さい。

主催： 国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学 未来社会創造機構 オープンイノベーション推進室
TOKAI INNOVATION SALON (TOIS) ※

共催： 株式会社 Tokai Innovation Institute

お問合せ先： 国立大学法人東海国立大学機構 TOIS 事務局 nakamura.keiko.w2@f.mail.nagoya-u.ac.jp (担当 中村)

※東海国立大学機構では、企業とアカデミアそして社会での実践者によるオープンイノベーションの創出に挑戦し、その発火点として各種テーマによるセミナーなどをサロンと称して活動を続けています。